



ちとせたい

学校だより 第 8 号
平成30年11月26日
六ヶ所村立千歳平小学校
文責：教頭

今が未来をつくる

校長 瀧田健太

もし、ドラえもんがいたら、あなたは何を出してほしいですか。ある低学年の男の子は「タイムマシンがほしい」と話していました。理由をきくと「未来の自分が何をしているのか知りたい」とのことでした。

私も子どもの頃は「未来」を知りたいと思ったことが何度もありました。どんな仕事をしているのか、誰と結婚しているのか、どこに住んでいるのか、などなど知りたいことがたくさんありました。

いま、この年になると未来を知りたいのではなく、「やりなおしたい」という過去への反省の念ががつのります。「あの時こうしていれば」とか、「もっとやさしくしていたら」「あの一言をいわなければ」などなど、思い浮かぶ節にきりがありません。

歴史において、「たら」「れば」は禁句といわれます。「もしも関が原の戦いで西軍が勝っていたら」とか「もしも坂本龍馬が暗殺されなければ」などの「たら・れば」は空想遊びにすぎません。科学的にも物理的にも、今の技術では歴史を書き換えることができるタイムマシンは存在しません。(できてしまったら大変な事になってしまうかもしれませんが)



さて、友人や知り合いと話をしていて「後悔を一つあげるとしたら何？」という話題で盛り上がる場合があります。意外に多い答えは「もっと勉強しておけばよかった」です。学力の基礎である小学校や中学校の勉強をしっかりとやらなかったおかげで、その後の人生が大きく変わったと話す人がけっこういました。人生の分岐点は15の春なのかもしれません。中学校を卒業するとき、自分はどんな未来を描き、そのためにどんな高校を選択するのか。

「もっと勉強しておけばよかった」という後悔の種は、人によっては小学校時代に蒔(ま)かれているようです。でもご安心ください。お子様方は幸いにして後悔を感じる大人ではなく、何度でもやり直せるチャンスがある小学生です。たとえば2年生で覚えるべきかけ算の九九ですが、上の学年になってもよくわからない子がいたとしたら、そのままにせず何年生になっても覚える努力をすればいいのです。もちろん私たちは全力で支援します。恥ずかしいことは何一つありません。

「やれなかったのか」「やらなかったのか」。この二つの言葉はたった一文字しか違いません。でも、その意味するところには大きな違いがあります。ミュージックバンド：DREAMS COME TRUE (ドリームズ・カム・トゥルー：通称ドリカム)の『何度でも』の曲の中に、「10000回だめでへとへとになっても10001回目は何か変わるかもしれない」という勇気の出る歌詞があります。本校では「やれる」のなら本気で「やる」子を育てたいと、愚直に、それでもまっすぐに指導を続けております。

「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。」

by エリック・バーン (カナダ出身の医師)

子どもには、限りない可能性と夢がひろがっています。彼らの未来はすでに始まっています。

「つくる」秋 ① 【11/20 お楽しみ集会で学年をこえた絆を！】

縦割り班対抗のお楽しみ集会。グループには、1年生から6年生までの子がいます。全員が楽しめることを考えることは、とっても難しいことです。

今回は足でジャンケン。勝っても負けても「楽しかった！」の声が上がって会は大成功。委員の運営の仕方も素晴らしく、83人の絆が深まりました。



先生方とのジャンケンがけっこう難関。クリアした子は、ダッシュで戻る！



楽しいだけでなく、発表も委員会活動もしっかりと！

「つくる」秋 ② 【つくると言えば、やはり「食」!?】

収穫の秋。子どもたちは、さまざまな「食」の体験をしています。

もちろん「食べておいしい」だけでなく、調理の技術、安全への配慮、準備や後片付け、食事中的話題選びのマナー…etc. 為すことによって学ぶことはたくさんあります。でも、一番大切なことは、自分の心に、食材と一緒に調理した友達や手助けしてくださった方への「感謝」の気持ちをつくっていくことです。みんな、ちゃんとできたかな？



※ 左から、

10/19 6年 カレー作り

10/26 4年 ギョーザの皮でアップルパイ作り

10/30 2年 ゴロゴロさつまいもドーナツ作り

あき
かぜのこしゅうかい
「つくる」秋 ③ 【11/10 風の子集会で学習の成果を！】

■ (1年) 「なんてったって1年生」



入学して早7か月… 1年生は、あんなこと、こんなこと、できるようになったことを次々披露してくれました。

■ 音楽他 (5年) 「世界の国へ行ってQ」



5年生は、社会科や総合を巧みに織りこんで、世界の国々を紹介！ USAでは流行のダンスをキレイに踊って、会場を魅了しました。

■ 音読劇 (2年) 「おちば」



うちの庭は明日きれいにすればいい… 自分のことは後回しでも、友達の喜ぶ顔を想像するだけで幸せになる「がまくん」と「かえるくん」を熱演してくれました。

■ 道徳劇 (6年) 「手品師」



売れない手品師が、男の子とかわした約束… 大劇場出演の夢との葛藤を、12人の豊かな表現力で描ききりました。

■ 児童代表あいさつ
しめのあいさつも、6年生の重要な仕事。小学校最後の会に想いを寄せて…



■ 音楽 (3・4年) 「歌であそぼう」



3・4年は、村の音楽会で披露した歌に加えて、手遊び歌や手話にも挑戦。真剣な表情で全員の息を一つに合わせて取り組みました。



■ 全校合唱「今日から明日へ」
… 歌声を、講堂いっぱいに響かせました。

あき
「つくる」秋 ④ 【作品展で健闘！】

恒例の村作品展。書写・絵画・版画の部で、銅賞以上だった児童を紹介します。(名前は学年順です。)

【書写の部：2年 福岡 凜・3年 小泉花恋・3年 小泉ひなた
4年 小泉心優・5年 岡部菜々・6年 伊藤駿裕】

【絵画の部：1年 小泉羅音
・3年 小泉ひなた】

【版画の部：4年 橋本心菜
・6年 園元 輝】

